

2. 家計簿記普及上の諸問題（第4報）

お茶の水女子大 三東 純子

1. 私どもは、家庭生活を幸福にする一手段として家族経済の安定向上をはかるのであるが、そのためには、予算生活の実行が最良の方法と考えられる。また、予算生活実行に当って家計簿記の記帳が出発点となるといっても過言ではないと思う。そこで、前三回は、調査により、家計簿記普及上の問題点を見出し、その普及方法を考察した。既述のように、記帳者の家計簿に対する要求は、まちまちなので、在来のものとは異なった家計簿を考案することは、記帳していない家庭や家計簿に不満をもっている家庭でこれが用いられれば、家計簿記の普及、ひいては家族経済の安定向上をはかる一方法となろうかと考えた。

2. すべての取引を記入でき、正確な決算ができ、かつ、誰にでも理解し易く、簡単に記帳できるような組織の家計簿記を目標として工夫考案した。これを用いて、記帳実験を行ない検討を加えた。

3. 記帳実験により、この家計簿記は、複式簿記の理論を知らなくても正確な記帳と決算のできる組織でありまた、記帳者の能力の程度に応じた使い方ができ、記帳の方法は簡単容易であると考えられるに至ったので発表させていただきます。